



自己肯定感を高める授業をめざして

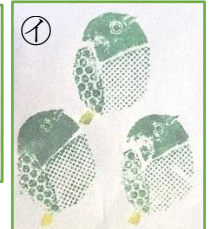
指導員訪問⑦ 3年 図画工作科「でこぼこさん大集合」 横田 舞 教諭



絵を描くことが大好きで、絵に表す活動に前向きに取り組む子供たち。しかし、立ち止まることなく描き終え、思いを伝えるための工夫を施すことがないと横田教諭。

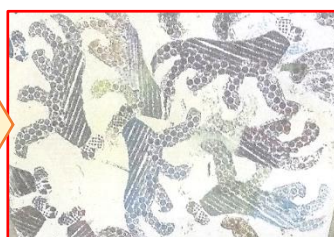
そこで、本単元の版のつくり方や写し方を工夫することを通して、試行錯誤しながら作品から伝わる思いが様々に変化し、表現の楽しさを実感してほしいと願いを込めました。本時では、制作、鑑賞を通して「配置」「重なり」など工夫して表す姿があったかどうかです。

初めに子供の作品から⑦①を提示、さらに2作品。授業記録のように「色」「数」「向き」などの視点で気づいたことを出し合いました。中には重なりや模様に見出しやすさを見出す子も。刷る際の諸注意を確認して20分間制作に取り組みました。



緑②・赤②・青②・黄②・黒①計9か所で版を刷っては移動。徐々に並べたり、重ねたりする作品ができ上がりました。最後の振り返りでは、「色を変えてみた」「数を増やした」、さらに「みんなのを見て真似してみた」と言う子も。作品に思いを吹き込む子供たちです。協議会では、準備の大切さ、共通の認識や技能の引き出しをいかに増やすかを中心に意見を出し合いました。指導員から、①他者との違い、

よさを感じる力の育成、②版画の偶然性や即興性、③きめ細やかな準備と対応、④ほめる声掛けや子供の言葉で助言、④効果的な導入の必要性、さらに⑤本時における代案まで教えていただきました。



上の子は、「歩いたり、登ったりしてる！」と動き出しました。下の子は、「家族なんだよ」と。T●「重なってもいいの？」って私は揺さぶりたくなりました。実はC3・13・17の視点が活かされましたね。



＜授業記録より一部抜粋、編集＞

- C1 : ⑦①どっちも3匹並んでる。
- C2 : ①はくっついてないけど、⑦は重なってる。
- C3 : ⑦はグラデーションみたいに刷染んで、①は尻尾と体で色が分けてある。
- －＜略＞－
- C6 : ⑦①両方模様がちゃんと写ってる。
- C7 : ⑦クマの色が半分半分になってる。
- T8 : さっき言ってくれたんだけど、何を工夫してるってことかな？
- C9 (多数) : 色！
- T10 : これは？
- C11 (多数) : 数
- T12 : 数が自分たちの作品とちょっと違うね。
- C13 : 形と模様！
- T14 : 重なってるなあ、とか模様があるなあとか気付いているね。みんなこの辺工夫できた？
- C15 (つぶやき) : ◎できた。△数はできんかった。△全部同じ色で・・・。
- T16 ● : もう1個、本当に色と数だけかなあ？
- C17 (つぶやき) : 場所や配置。背景。配置によってどんなことしてるか・・・。